

○高大連携課題研究合同発表会 in 京都大学に参加しました

11/4（月・祝）に京都大学で兵庫県内理数系学科やコース、類型などを持つ16校の合同研究発表会が行われ、本校からは2チームが参加しました。夏の探究ウィークから1年生6名が「プラナリアはどのようにしてエサを見つけているのか」（生物分野）、課題研究からは2年生2名が「国道176号線における交通渋滞について」（地学・地理分野）というタイトルで発表し、京大の先生方や学生などから助言いただきました。どちらも兵庫県立大学の先生等から助言を受けたりしていましたが多くの方々にも見ていただいたことで、新しい着眼点が見つかったり、新たな課題が見つかったりと様々な収穫がありました。今後はそれらの助言等を生かして研究を進めていきます。



○ 大阪大学訪問

11/12（火）にGS科2年生が大阪大学の見学に行きました。今年は総合図書館の見学の後に卒業生との交流会を実施しました。3班に分かれての学内散策と「いまGS科の後輩に伝えたいこと」という題目でお話いただきました。



午後は理学研究科の梶原教授から模擬授業をしていただきました。糖タンパク質における糖鎖に関する内容だけでなく、ご自身のキャリアや研究室の学生の活動など大学で学ぶことについて幅広く講義いただきました。最後には学生実験室での基礎実験の様子や各研究室での研究活動を見学させていただきました。



最後には総合学術博物館で豊田准教授より、長岡半太郎の書や初期の真空管コンピュータなど貴重な展示物について1時間解説いただきました。

○ SSH生物特別講義「Living Dinosaurs」

11/14（木）に3年生のGS科及び普通科理系の生物選択者とGS科2年生に県立人と自然の博物館の田中公教 恐竜化石総合ディレクターに爬虫類と鳥類の進化と分類に関する特別講義をしていただきました。



3年生向けには授業で学習した進化と分類の話を交えながら専門的な内容まで踏み込んだ講義で、なぜ鳥類と恐竜は同じグループになったのかということ系統分類学のルールをもとに解説していただくとともに、現存する主竜類（ワニと鳥）の進化と適応放散について講義いただきました。



GS科2年生向けの講義では昨年のフィールド実習の内容を踏まえ、中学で学習した「脊椎動物には5グループある」という内容が実は正確な分類ではないということに気づかされる講義でした。

いずれの講義もあっという間の50分でした。田中先生からは「高校までの学習活動の中心は教科書からの学びが土台だが、大学からの学習活動は教科書を作っていくものになる」というお言葉をいただきました。

佐々木桂奈江先生からのメッセージ

8月に実施したSSHサイエンスキャンプの中で若手女性研究者として兵庫県立大学大学院生命理学研究科 佐々木助教より講演いただきました。その中で提出した質問シートに一つずつ丁寧に回答いただきました。今回はその一部を紹介します。

僕も現在、夢がなく。
 大学も選択が難しいですが、
 何とかで大学には入りたくないです。
 その時に、佐々木先生の道を知り、
 聞かせていただき、深く参考にしました。
 ありがとうございます。それは良かったです。
 夢に直結してはなくても、興味のある分野を極めよう！というの
 良いのでは無いでしょうか？
 1年普通男子
 今後の人生に生き生きと立ちますよ。

自分はどちらかと言うと文系なので、
 今後見るべき・知るべきがわからない内容の
 話を聞けることができて、とても良い経験に
 なりました。それは良かったです。
 今後とも疑問をもちたいので、日常の中でふとあるのを、
 理学部へ申し興味をもちたいので、
 文系→理系に変更するつもりでいるので、
 気持ちが変わったら理学部へ応募したいです。
 1年普通女子

お話を聞くことができて、とても楽しかったです。
 私も佐々木先生のように充実している大学生活
 を求めるように見習おうと改めて思いました。
 それは良かったです。大学は能動的に勉強したい
 何と得られたいまま終わってほしくないです。積極的に
 動いていきたいと思います。□さんは志と人生の糧に
 されることでしょうか。
 1年GS女子

今は、将来自分がどうなるか、何の仕事をして
 どの様に生きていけるかを深く考えてしまうこともあり、
 不安になってしまいますが、希望通りではない道でも
 思いがけずチャンスがある、などのことを聞くこと
 ができて、勇気が出ました。ありがとうございました。
 それは良かったです。
 人生、念入りに準備していき、思い通りにいける
 ことも多いので、気楽にいきたいと思います。
 研究室訪問時、先生に興味があったので、どんな
 思いでこの植物生理学に携わりたいのか、
 先生意外にも面白、気が配る教授にしたい！という先生もいました。
 1年GS女子

色々なことを教えてもらったので、
 まだ「研究職」へのイメージがぼやけていた
 母の代わりで、ためになりました。
 親は結婚してほしくないと思っ、てい子やうに
 博士課程とかあり、考えていかなかったのだから、
 考えてみる方がよいと思っ、ていたのだから、
 ありがとうございます。難しいですが、結婚はあり関係
 ありがとうございます。
 1年GS女子

今、高校の授業が難しく、一杯一杯で、不安に
 と、もっと深い内容で、今後深く聞きたいので、
 理解するべきができて、少し興味もあるため、聞けるため
 に、これからは、もっと努力が必要だと感じました。
 大学は専門分野を重点的に学ぶので、
 狭く深いという感じ。高校は学業の範囲
 が広いので、かえって大変かも。大学の方が簡単
 かもしれませんよ。
 1年GS女子

海外に行く仕事の場合は英語は普通に専門用語は
 話せるようになるのがいいかな？
 研究の参考文献は英語の論文ばかり、
 普段から専門用語に慣れています。むしろ、
 一般会話の方が難しいかも。
 研究用語専門の参考書もたくさん出ていますよ
 1年普通女子

課題も研究で、論文を読む時、グーグルスワラーを
 使っているのですが、欲しい情報にうまく当たらず、
 あまり活用できていません。論文を探すツツ、
 学術論文は、
 論文をどうやって読むのか、
 HPEさんに教えて下さい。
 例として、研究手法についてもっと詳しく知りたい
 私の場合、研究手法を探索するのにおい、google scholar
 範囲を狭めてもらうとヒットしにくいものもある。普通のgoogleで、検索
 とし、そのページから、検索して、
 論文検索のページ。
 学術論文でも間違りに情報記載している場合があるため、(そのgoogleで
 信頼性と集まっている。内容も見、信用できるか判断していますよ。
 2年GS男子

この他質問シートも含め参加者の皆さんにお渡しします。楽しみにしててください。